



藤の実



記念品をいただきました

令和6年2月2日 No.34

衣更着（きさらぎ）ですが…

今冬の「大寒」は1月20日(土)でしたので、本格的な寒さは例年ならこの後になるはずですが、この冬は様子が違うようです。2月を「衣更着」というのも、寒さが厳しくなり衣類を更に重ねて着る頃だからという説が有力なのだそうです。この調子だと更に重ねる必要はなさそうな感じがします。

さて、令和6年の1月がアツという間に終わってしまいました。数えてみると、なんと卒業式までは28回、修了式までは31回の登校です。これまたアツという間にその日を迎えてしまいそうな気がします。

あまり寒くはないとはいえ、乾燥する時期であるのは間違いありません。火事や感染症に気をつけて、ぜひともその日まで完走したいものです。

がんばったよ！～5日は大台で～



1月29日、大曲ファミリースキー場で低学年のスキー学習を行いました。またもや雪の心配をしましたが、雪質もそれほど悪くなく、無事に行うことが出来ました。

5日(月)は大台スキー場でのスキー教室ですが、やはり積雪量が心配されます。実施の可否については、スキー場に確認した上で決定し、**中止の場合のみ日曜日の17時に緊急メールでお知らせします。**なお、5日はスキー教室の有無にかかわらず、お弁当の準備をよろしくお願いいたします！



「梵天披露」行われる



31日(水)、「藤木昭和58年会」の皆様が来校され、梵天の披露をしてくださいました。

初めの伊藤会長の口上では、子どもたちへの励ましの言葉や私たち職員への感謝の言葉をいただきました。そして、力強い歌声で梵天歌を2曲披露してくださいました。その後、みんな頭を下げてお祓いを受け、八幡神社のお札とともに、紅白の「祝い餅」と「記念品」をいただきました。

今年も地域の大切な行事に触れる貴重な機会をいただきました。見ていた子どもたちも、大人になったらこのように藤木小学校に披露に来るのだと思ったことでしょう。同級生の人数が減ってきてはいますが、ぜひともこの伝統を受け継いでもらいたいものだと思います。

「藤木昭和58年会」の皆様、梵天披露ありがとうございました。



「募金」をお届けしました

先週お知らせした、児童会の発案による「能登半島地震災害支援のための募金」ですが、募金額は最終的に【30,226円】になりました。当初は赤十字へ送金する予定でしたが、秋田魁新報大曲支局へ届けました。ご協力ありがとうございました。

また、緊急メールでお知らせした「県PTA連合会」の方の募金についても、振り込ませていただきました。

陸羽地震から100年以上、日本海中部地震からは40年経っています。いつまた…と思うと、とても人ごととは思えません。